

議会のうごき

H24年7/27から 10/25まで

- 7月**
- 27(金) ◇町村議会議長研修会、吉村美栄子氏を励ます山形県町村議会議長連盟設立総会 ◇農業委員との交流会
 - 30(月) ◇後期高齢者医療広域連合7月定例会
 - 31(火) ◇県町村議会議長会理事会
- 8月**
- 1(水) ◇3同盟会合同要望（総合支庁、山形河川国道事務所、東北地方整備局）
 - 2(木) ◇3同盟会合同要望（中央要望）
 - 3(金) ◇第1回臨時会、第9回全員協議会
 - 4(土)-5(日) ◇古河市花火大会
 - 7(火) ◇県監査委員協議会臨時総会
 - 14(火) ◇町成人式
 - 16(木) ◇山神社祭式 ◇駅前盆踊り大会
 - 17(金) ◇議員協議会 ◇真室川まつりパレード ◇山方商事交流会、古河市交流会
 - 20(月) ◇山形新幹線延伸早期実現同盟会総会役員会、総会
 - 20(月)-21(火) ◇最上地区監査委員協議会総会
 - 21(火) ◇広域組合臨時議会運営委員会
 - 22(水)-23(木) ◇3県合同議長・事務局長中央研修
 - 24(金) ◇議会改革調査特別委員会
 - 27(月) ◇例月出納検査
 - 28(火) ◇定期監査
 - 29(水) ◇広域組合臨時会 ◇町畜産振興研修会並びに町内産和牛食味会
 - 30(木) ◇議会運営委員会
- 9月**
- 1(土) ◇真室川北部小学校相撲大会
 - 2(日) ◇町防災訓練兼山形県消防協会最上支部総合防災訓練 ◇及位中学校閉校記念大運動会
 - 3(月) ◇最上広域消防北支署建設工事安全祈願祭
 - 4(火) ◇最上地方町村議会議長会議
 - 6(木)-12(水) ◇第3回定例会
 - 8(土) ◇真室川小学校校内相撲大会
 - 15(土) ◇真室川芋煮会（甚五右工門芋）
 - 16(日) ◇平枝番楽公演
 - 17(月) ◇町敬老会
- 9月**
- 19(水) ◇及位中学校閉校記念事業実行委員会
 - 21(金) ◇4町村議会議員交流会
 - 24(月) ◇町連合婦人会との交流会
 - 25(火) ◇例月出納検査
 - 26(水) ◇ゲートボール、グラウンドゴルフ協会との交流会
 - 27(木)-28(金) ◇荘内・最上両地方町村議会議長会合同会議
 - 28(金) ◇議会広報委員会（第1回校正）
 - 29(土) ◇たんぼぼこども園、釜淵保育所大運動会
 - 30(日) ◇安楽城保育所 ◇がんばろう東北 復興支援日本一祭り2012
- 10月**
- 2(火) ◇広域組合議会運営委員会 ◇議会改革調査特別委員会
 - 3(水) ◇広域連合議会運営委員会、全員協議会
 - 3(水)-4(木) ◇監査委員全国研修会
 - 4(木)-5(金) ◇村山・最上両地方町村議会議長会合同研修会
 - 5(金) ◇議会広報委員会（第2回校正）
 - 7(日) ◇第21回町民芸術祭
 - 8(月) ◇第8回真室川町民レクリエーション大会
 - 9(火) ◇広域組合議会定例会
 - 10(水) ◇広域連合定例会 ◇区長会との懇談会
 - 11(木) ◇議会広報委員会（第3回校正）
 - 12(金) ◇最上地方議会議員研修会
 - 13(土) ◇関東どまんなかまつり（古河市）
 - 14(日) ◇第20回伝統の舞 番楽フェスティバル ◇第28回釜淵ロードレース大会、タイム申告マラソン大会 ◇東京真室川会総会
 - 15(月) ◇県町村議会議員研修会
 - 17(水) ◇東北中央自動車道整備促進大会、意見交換会 ◇議会広報委員会（最終校正）
 - 19(金) ◇議員協議会
 - 22(月)-25(木) ◇議会報告会
 - 25(木) ◇例月出納検査

両常任委員会合同視察研修

～先進地に学ぶ～ (秋田県内3市)

7月19日～20日にわたり、総務文教・産業福祉常任委員会合同による先進地行政視察として秋田県内3市を訪問しました。議会でもこれまで再生可能エネルギー、空き家対策、統合後の廃校利用について幾度となく質疑に付された経緯もことから、先駆的に取り組んでいる自治体の現状を視察し、当町において今後の政策がどうあるべきか調査研究を行いました。

小水力発電

■由利本荘市

西目土地改良区

「農業用水路の落差を利用した小水力発電の現状」について（現状と課題）

国のエネルギー政策の一環として、昭和58年度からかんがい排水事業の農業用排水施設として、土地改良施設の維持管理費軽減を図る目的で計画されたもの。水力発電計画は、用水路下流部の落差（120m）を利用し水力エネルギーの活用を図るために立案されたもので、発電後の用水は県営ほ場整備事業で設置した調整池に導水されたパイプラインかんがいの用水として利用される。

また、発電により発生した電力は地区下流の揚水機・排水機等の農業用排水施設の操作電力として供給される。

年間発電量	740 kw
売電単価	2,993 kw/h
新規	10円、30円

売電実績平成23年度、24,882,000 kw
売電金額平成23年度、24,991,226円
課題として、水の量と落差が必要であり、当町の適地はどこが望ましいのか調査・研究が必要。



落差を利用した小水力発電

空き家対策

■横手市

「空き家等の適正管理に関する条例」について（現状と課題）

平成22年度の豪雪を踏まえ、市では平成24年1月から、空き家の所有者に空き家等の適正な管理を促す「横手市空き家等の適正管理に関する条例」を制定。また、老朽危険空き家の解体撤去を促進するための支援制度も創設、平成24年7月より本格運

用を開始。

- ・空き家総数 1,180棟
- ・内危険と判断された家 (倒壊済み含む) 46棟
- ・解決済み空き家数 (解体撤去、再居住化) 99棟

- ◆個人の財産権、所有権が侵害される恐れがある内容である。
- ◆所有者ではなく「市が」空き家を適正管理するものと誤解している市民が多い。(危険な家を通報すれば、市が空き家の雪下ろしをしてくれる等)
- ◆条例の制定により、これまで民間で解決していた内容が行政に持ち込まれるようになった。(所有者の連絡先が判明していても市に通報してくる)
- ◆放置しておけば行政が何とかしてくれるだろう、という意識の蔓延
- ◆また、個人の空き家管理意識の低下が懸念され、住民に対し公平・公正な条例であるために、更に研究を深めることが必要。

廃校利活用

■仙北市

「廃校舎を利用した取り組みの状況」について（現状と課題）

平成11年3月31日に廃校が決まった上松木内中学校について、

地域住民より福祉的活用や保育環境の整備、介護保険制度の本格導入に向けた施設整備が必要であったことから、多世代交流施設「山鳩館」を開設。管理運営主体は、開設年から平成18年度までは社会福祉協議会により運営されていたが、諸事情により平成19年度より市直営となっている。

- ・高齢者生きがい通所事業利用 1日300円
- ・多世代交流施設使用料は営利目的のみ有料
- ・上松木内保育園については、へき地保育所管理規程に基づいての料金 (職員)
- ・市職員は配置せず臨時雇用者5名。
- ・多世代交流施設費 (施設管理費他) 約220万円。
- ・生きがい通所事業費約240万円。

- ・開設年度延べ744人、21年度1,007人、22年度1,063人、23年度971人。
- ・幼児保育については他保育園に通園との事で休園。

請願

◆地方財政の充実・強化を求める請願(敬称略)

《提出者》

連合山形新庄最上地域協議会 議長 渡辺 裕一

《紹介議員》 外山 正利

○要旨

・急速な高齢社会が到来し、地方自治体の役割が高まっている中、地域予確保、農林水産業振興、グリーンエネルギー開発等の政策分野の充実・強化が求められるため、来年度も今年と同規模の地方財政計画・交付税を強く要望するもの。

◆少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請についての請願

《提出者》

山形県教職員組合最上地区支部 支部長 松田ひろみ

《紹介議員》 外山 正利

○要旨

・日本は、OECD諸国に比べ1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている現状に対し、丁寧な対応を行い未来への先行投資として学びを支援し、人材育成・雇用拡大へとつなげることを強く要望するもの。

◆脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求める意見書の提出に関する請願

《提出者》 さよなら原発県民アクション 呼びかけ人代表

《紹介議員》 高橋 義夫

《要旨》 外山 正利

・東日本大震災による原発事故は深刻な放射能汚染を引き起こし、多くの住民が不安な生活を余儀なくされているため、脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を早急に行うよう強く要望するもの。

以上の請願3件は、意見書として提出

《提出先》 内閣総理大臣他

意見書

◆地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

《提出先》

・地球温暖化防止を確実にするため、山村地域の市町村が主体的に実施することが不可欠であるが、そのための財源として「地球温暖化対策のための税」を森林面積に際して譲与する仕組みを早急に講じるよう強く要望するもの。

《提出先》 衆参両院議長他